



愛郷無限

土屋館  
どやだて  
通信

発行者：大曲・花火通り商店街  
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035  
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2013年10月02日号 NO.416

写真提供：大崎市

## Subject：土屋館わいわい広場 養護学校コラボ

9月28日、土屋館わいわい広場ホコテン。本当に大盛況でありました。秋田県南の養護学校3校（大曲／横手／稲川）が集い、路上とのびのびらんどに於いて就職技能競技大会を開催。全国大会の予選となる競技大会の実施はもとより、生徒達自身の手による制作物の販売や、体験コーナー、そして太鼓やよさこい、ダンスの披露。集まった市民の皆さんに応援をいただき、大声援をもらうことができました。生徒さん達の気持ちにちょっとは何かを残す事ができたんじゃないかな～と思います。

いつもの出展メンバーに加え、今回から参加してくれた方々が多数おり、歩行者天国にしてもまだ場所が足りないほどの盛り上がりでした。宮城のゆりあげ港朝市から直送したサンマも500匹が完売！

遊びに来てくれた方々から「うれしい」「いつもありがとう」「難儀かけてるね」とお声かけいただける機会もますます増えています。土屋館わいわい広場の開催目的は【ここに来ればお馴染みさんに会える場所】、【人とつながりたい、何かを発表したい、売りたいという人が簡単に参加できるプラットフォーム】を私たち自身の手で作りにあげることです。何度もお伝えしますが、決して中心市街地活性化とかではありません。高齢化が進み、ご近所力の希薄化が問題になる中で、今後もその存在意義と重要性は高くなっていくことでしょう。

また、先に向けての収穫の多い回でもありました。

- ・ 子供ダンススクールの方々の発表の場としては是非使わせて欲しいと見学に来訪。
- ・ JR駅からハイクの県外のお客様が突然来訪。美味しいものに舌鼓で大満足。JRさんは土屋館の開催日に合わせて駅からハイクを組んでくれるようになりました。
- ・ 年配のフォークバンドの方々が、ステージと音響を持参して（事前連絡なしに）いきなり参加。もちろん大歓迎して、今後も仲間に加わってもらうことに。
- ・ 初出展の方々に、次回からも参加させて欲しいと要望される方が多数。
- ・ 車で10分ほどの介護施設の入居者さん達がたまたま遊びに来て、こんなにうれしいのなら毎月参加したいので、今後チラシを届けてくださいと頼まれました。

信じてやり続ければ必ず伝わります。【養護学校の技能競技大会および発表・販売会】の運営を商店街や土屋館衆、青年部と協力して、しかも街中で開催したこと。これこそが今回の一番の【肝】の部分であり、皆で仲良く生きることができる町の切っ掛けの一つになるのではないのでしょうか。